

マクドナルドの国産木材の活用状況 Planet Project

日本マクドナルド株式会社
佐藤弘樹

JAN 2024





**世界約100以上の国と地域
約40,000店舗で展開**

**日本：約3,000店舗
年間約14億人のお客様がご来店
約19万人のクルー**

私たちのパーパス（存在意義）

Our Purpose

おいしさと笑顔を地域の皆さまに

Our Mission

おいしさとFeel-Goodなモーメントを、いつでもどこでもすべての人に

Our Values



Serve

お客様とピープルを
第一に考えます



Inclusion

オープンドアの精神で
多様性を活かします



Integrity

常に正しいことをします



Community

地域に貢献します



Family

力を合わせて成長します

マクドナルドが優先的に取り組むSDGs

17の目標のうち、マクドナルドが特に取り組んでいる6つの目標をご紹介します。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



3つの目標



2025年末までに、お客様に提供するすべての食品パッケージを、再生可能な素材、リサイクル素材または認証された素材に変更



2025年末までに、すべてのハッピーセットのおもちゃを再生可能な素材、リサイクル素材または認証された素材など、サステナブルな素材へ移行



2050年までに、店舗、オフィス、サプライチェーン全体で温室効果ガス排出ネットゼロを達成

プラスチック削減に向けた取り組み

日本マクドナルド

2025年末までに、すべてのお客様提供用パッケージ類を、
再生可能な素材、リサイクル素材または認証された素材に変更

木製スプーン・フォーク・ナイフ・マドラーと紙ストローの
提供を全国の店舗にて2022年10月より開始



ハッピーセットおもちゃ回収
(2018 - 22年)
15,050,000個



「ぼくはハッピーセットの
おもちゃからうまれたよ！」

ウッド・チェンジ・ネットワーク参画 (2019～)



DTのモデル化/木質化

2018年
オリンピック問題

2019年
ムルバー導入

2020～2021年
木造軸組み推進

2022年
木造新モデル実施

ハイテンション
ボルト問題



調達期間
3カ月⇒10か
月



鉄骨造から木造へ加速

農林水産省と協定を締結（2023年2月）

【構想内容】

建設予定のマクドナルド店舗において、一店舗当たり一定量以上の地域材を利用する設計を基本とする

【構想の達成に向けた取り組みの内容】

3年で計5,550m³の地域材を利用することを目指す店舗建設の際、クリーンウッド法に基づく登録木材関連事業者により合法性が確認された木材を利用する木材利用の意義やメリットについて、積極的に情報発信する



延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
0 ㎡	5,550 ㎡	3,364 t-CO ₂	5,550 ㎡	3,364 t-CO ₂

木造軸組み店舗のモデル化

DT-150/240⇒C Series

客席数

70

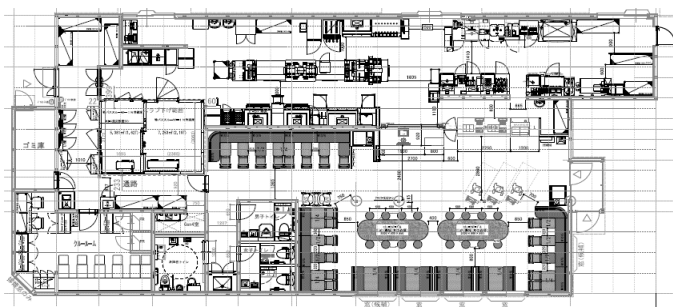
78

94

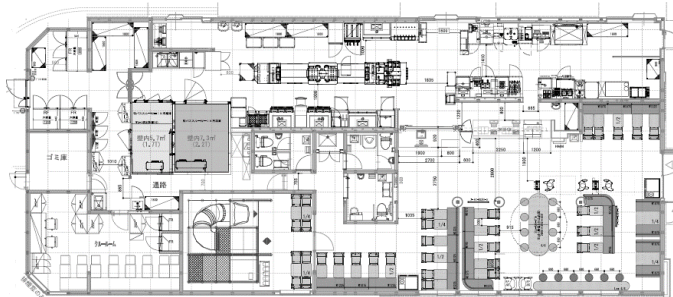
96

112

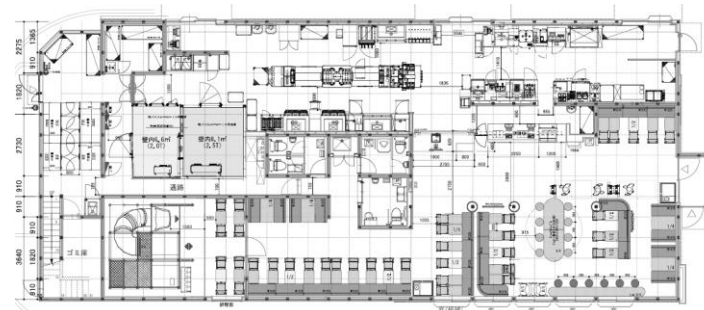
1



2

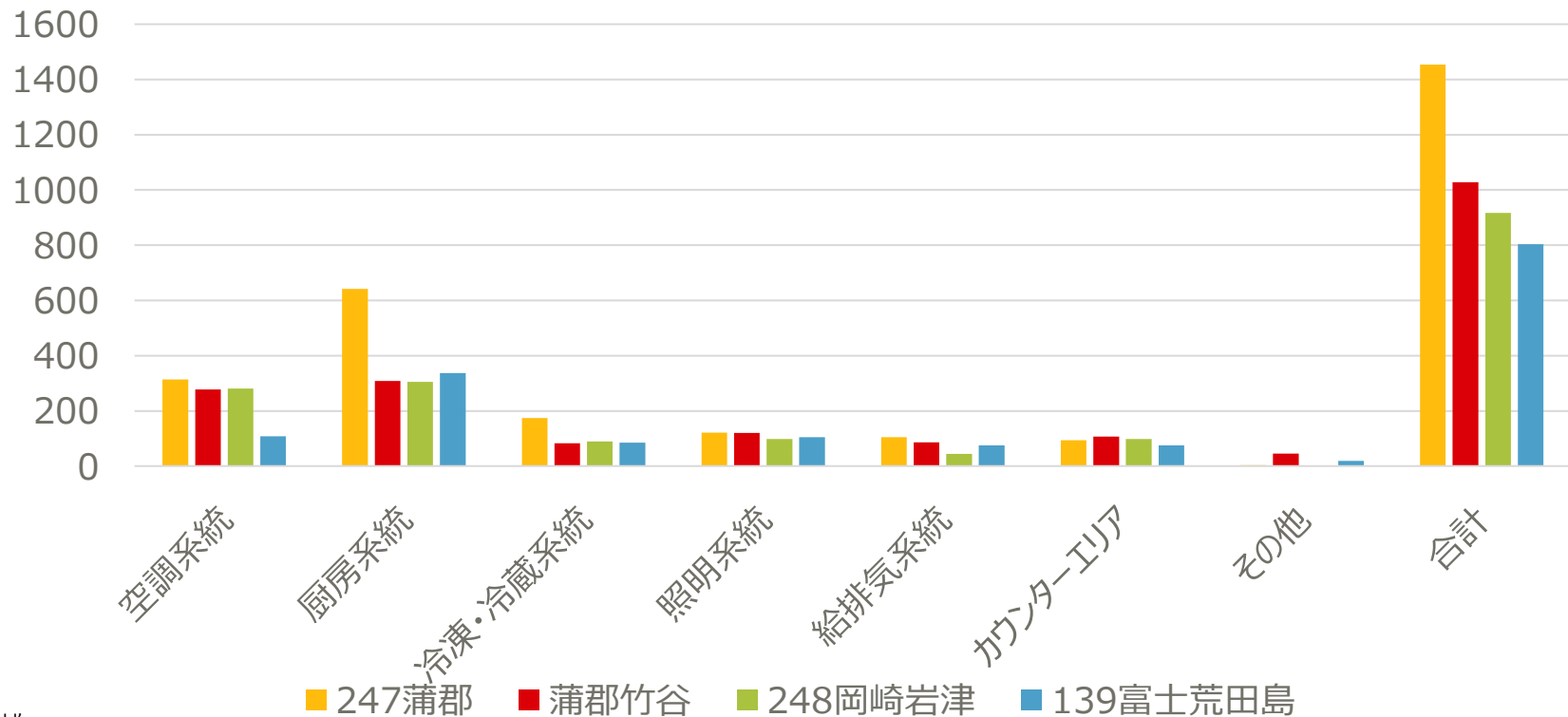


3



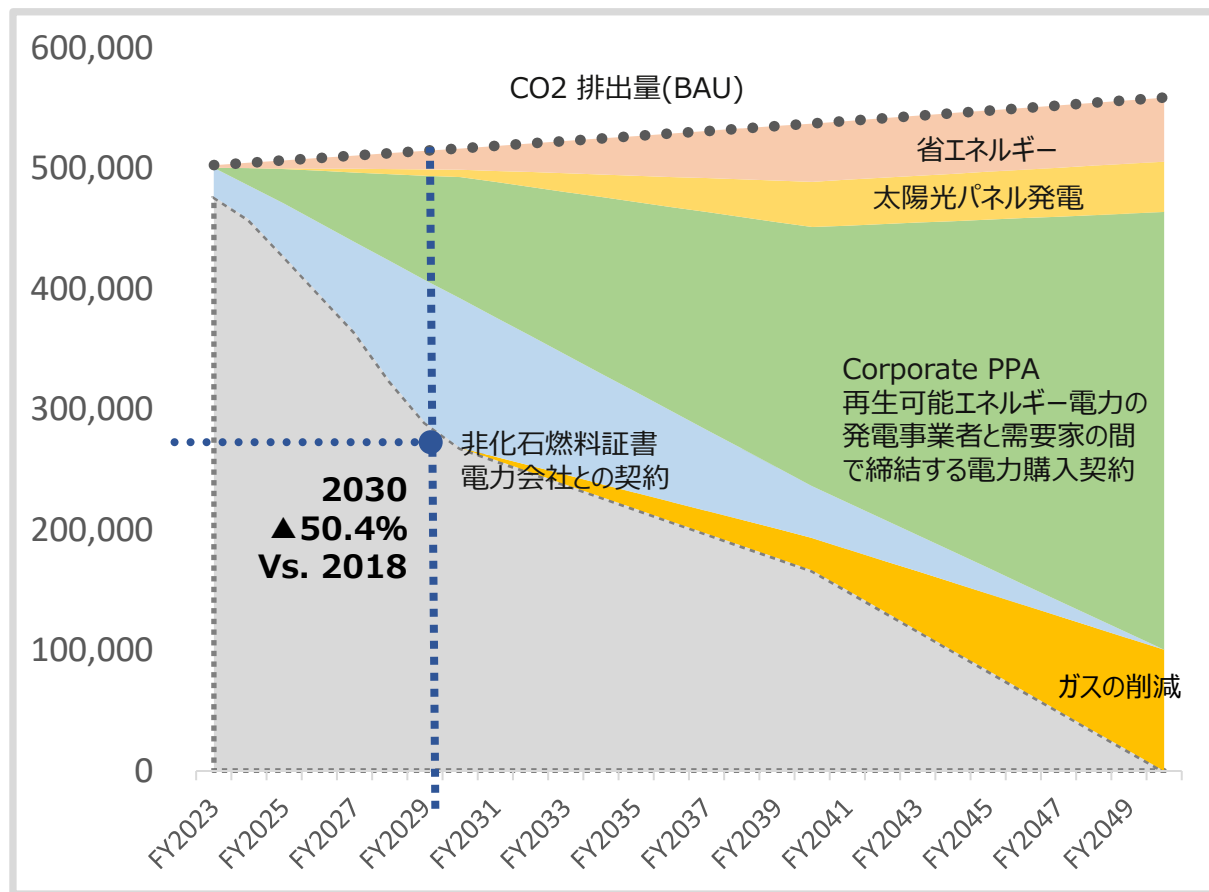
店舗面積

排気量の適正化と電力使用量（9月）



カーボン・ニュートラルに向けたロードマップ

- 2030年の目標を達成するためには、利用可能な選択肢の中からすべての行動をとらなければ難しい
- 企業PPAを含む再生可能エネルギーの導入が不可欠



日本マクドナルドの夢



我々が使う木材量に匹敵する
植林が実施される世界

植林が約束されている木材を使いたい

木造店舗を開発によりCO2排出削減
だけではなく、CO2吸収にも貢献できる

マクドナルドが、相応量の木材を10年間
使い続ける前提で、その伐採した土地に
植林されることが見込めるならば、

CO2の吸収量を示せるはず



ありがとうございました！